



「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」認定事業所の 障害者雇用にかかる取組事例



事業所名：株式会社ホンダベルノ市川

1. 障害者雇用までの経緯・きっかけ

県の障害者就労支援事業の受託会社（株式会社パソナ）の障害者就労訓練の現場を見学させていただき、採用に自信を持たため。

2. 障害のある人が従事している主な業務

総務事務、保険内務事務、洗車及び商品化仕上げ

3. 障害のある人を受け入れる体制を整えるために行った取組や、周りの従業員への理解促進のために行っている取組

- ・ 障害者就労訓練施設の見学情報を共有したり、障害に関するエッセイを回覧するなどして、受け入れ側のスタッフの情報不足や偏見の払拭に努めた。
- ・ 各々の担当業務から障害のある人が無理なく取り組める仕事の切り出しを行った。

4. 障害のある人の雇用継続のために行っている取組や、障害のある人の働く意欲を維持するために行っている取組

- ・ 施設面：階段への手すりの設置。トイレを和式から洋式に変更した。
- ・ コミュニケーション、体調管理：業務日報を活用し、作業の進捗や困り事を共有すると共に気分や疲労度を数値（5段階など）で伝えてもらえるよう工夫した。
- ・ 勤務時間：1～2時間おきに適宜休憩を取ることで、疲労蓄積の防止と集中力の向上を目指している。

5. 障害のある人を雇用する上で連携した支援機関と、支援機関を活用して良かった点

連携した支援機関（株式会社パソナ、障害者就業・生活支援センターあかね園、わたげワークス、株式会社Melk）

活用して良かった点

- ・ 紹介、職場実習を経てスムーズに就労開始することができる点。
- ・ 就労後も支援機関担当者との定期面談を持つことで、障害のある人も企業側も問題点を早期発見でき、結果として就労が定着している。